

西寺尾第二小学校 学校教育目標 ～「夢・希望・活力ある学校作りを目指します」～

- 自ら学び続け、自分の考えをもち、自分の考えを深める子を育てます。(知)
- 自分も友だちも大切にし、思いやりのある子を育てます。(徳)
- 心と体を鍛え、元気で明るい子を育てます。(体)
- 地域の人々との関わりを深め、地域の人とものを大切にし、共に生きる子を育てます。(公)
- 様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。(関)

児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

- ・子どもたちは落ち着いて、授業中は丁寧な言葉遣いをしようとしている。
- ・人権委員を中心に「挨拶」を奨励してきた。その効果が少しずつ現れ、自分から挨拶をする児童が増えてきた。自分からコミュニケーションをとることも積極的になっている。しかし休み時間や放課後、友達に対して乱暴な言葉遣いをすることはある。

中期学校経営方針 「豊かな心」達成目標

よりよい人間関係を築いていこうとする姿を価値付けするとともに、子どもの自尊感情を育て、自分を大切にできる心を育てる。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・集会、遠足、運動会などの行事活動を通して、学級集団だけでなく、異学年同士のつながりを深める。
- ・保護者、地域とふれあう活動を大切にするとともに、「横浜の時間」や「生活科」「社会科」では、まちで出会う「人」とのつながりを生かした学習を展開する。
- ・自ら進んで挨拶をする姿を認め、学年に応じた取り組みや人権活動につなげていく。

指針1 道徳の時間の充実

- ・道徳研修会 ・新しい内容項目で35時間の道徳の時間の実施
→学校内で研修会を実施し、道徳の時間の指導力向上を図る。【視点1】

指針2 体験活動の充実

- ・縦割り班活動を中心に異学年活動を充実させる。
→毎週一度の集会や、縦割りによる第二小オリンピック、全校遠足でリーダーシップとフォロワーシップを育てる。【視点3】
- ・清掃活動の徹底
→心をこめて清掃をし、働く気持ちよさを味わわせるとともに、地域清掃活動では父親の会と共同で、校舎内の大掃除も行う。
【視点5】

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・人権テーマを決めて、一年間全校で取り組む。今年度も「あいさつは、あふれる笑顔の合言葉」という錦台中学校ブロックの合言葉を意識し、挨拶をテーマに取り組む。学校・家庭・地域とも連携し、挨拶を素直にできるしなやかな心のさらなる育成を図る。【視点6】
- ・相手の気持ちを意識して、温かい言葉遣いができるようにする。【視点6】

指針4 豊かな感性や情操の育成

- ・読書環境の充実を図る。
地域ボランティアや有志保護者による「お話のまち」を、読書教育に積極的に位置付ながら、全校読書タイムの充実をさらに深める。また、まちと共に歩む読書活動の一環として、学校司書と連携し、図書室環境の整備、充実を保護者ボランティアの協力を得てさらに深める。【視点11】